

(別紙)

「水田フル活用と作付最適化による高収益水田営農の実現」

研究成果発表会

開催要領

・開催日時：2026年3月13日（金）13:00～17:15（開場 12:30）

・開催場所：レソラホール

福岡市中央区天神 2 丁目 5-55 5 階

・定員：会場 150 名、オンライン 500 名

・主催：農研機構九州沖縄農業研究センター

・参集範囲

農業生産者、農業団体、公立試験研究機関担当者、県関係専門技術員・普及機関担当者、民間企業、農林水産省、農研機構、その他責任者が認める者

・問い合わせ先（運営担当者）

農研機構九州沖縄農業研究センター暖地水田輪作研究領域長 大段秀記

〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉 496 電話：0942-52-3101（代表）

Email: kyusyu_suiden_MT@ml.affrc.go.jp

・議事次第

1. 開会挨拶 13:00-13:10

澁谷美紀（九州沖縄農業研究センター 所長）

2. 中課題 20803「水田フル活用と作付最適化による高収益水田営農の実現」の概要 13:10-13:25

大段秀記（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域長）

3. 研究成果発表

1) 子実トウモロコシの導入による大規模水田輪作の高度化

①子実トウモロコシを導入した暖地の新たな水田輪作技術..... 13:25-13:45

高橋仁康（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ グループ長）

②排水対策と高能率を同時に実現する「ディスク式高速一工程播種法」..... 13:45-14:00

松尾直樹（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ 上級研究員）

③ドローンによる「スクミリングガイ被害予測に基づく省力防除システム」..... 14:00-14:15

官森林（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 スマート水田輪作グループ 上級研究員）

④営農モデル自動作成プログラムによる大規模水田輪作経営モデル 14:15-14:30

岡崎泰裕（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 水田高度利用グループ 上級研究員）

2) 気象リスク対応型暖地水田栽培技術の開発

①領域気象モデルを利用した新しい農業警戒情報の創出と発信 14:30-14:45

柴田昇平（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 水田高度利用グループ グループ長補佐）

- ②ドローン空撮データを活用した「水稻生育診断・追肥量算出システム」…………… 14:45-15:00
中野洋（中日本農業研究センター 研究推進部 技術適用研究チーム 主席研究員）

休憩…………… 15:00-15:20

3) 安定生産に貢献する新品種

- ①高温登熟性に優れた良食味多収水稻品種…………… 15:20-15:35
笹原英樹（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループ 主席研究員）
- ②大豆の安定生産に貢献する多収新品種「そらみのり」…………… 15:35-15:50
大木信彦（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループ 上級研究員）
- ③国産需要に応えるパン用小麦品種「はる風ふわり」…………… 15:50-16:05
谷中美貴子（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループ 上級研究員）
- ④国産需要に応える秋播性大麦新品種「こはく二条」…………… 16:05-16:20
平将人（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループ グループ長）
- ⑤世界初の難脱粒・難穂発芽新品種「はるかみどり」…………… 16:20-16:35
鈴木達郎（九州沖縄農業研究センター 暖地水田輪作研究領域 作物育種グループ グループ長補佐）

4. 閉会挨拶

佐藤尚（九州沖縄農業研究センター 研究推進部長）…………… 16:35-16:45

●ポスター展示の研究成果（ホワイエにて展示）

1. ドローン画像自動マップ化プラットフォーム
2. 麦あとでも栽培できる振動ローラ式水稻乾田直播
3. 降雨後の高水分条件でも播種可能な畝立て乾田直播機
4. 良食味多収水稻品種を活用した再生二期作技術の確立
5. 加工適性に優れる大豆多収新品種「きらゆたか」
6. フランスパン加工適性が優れる準強力小麦品種「さちかおり」
7. 炊飯後の麦ご飯が褐変しにくいもち性大麦品種「きぬもち二条」
8. 麦ご飯の黄色みが特徴的なもち性大麦品種「くすもち二条」
9. 世界初の低アミロース性ソバ新品種

※ポスターは講演会開始前、休憩中、講演会終了後（17:15 まで）にご覧ください。